

# 守山企業景況調査報告書

(第 23 回)

平成 27 年 4 月～平成 27 年 6 月期 実 績

平成 27 年 7 月～平成 27 年 9 月期 見通し

# 守山企業景況調査について

(平成 27 年 4 月～平成 27 年 6 月期)

## 1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 71 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax 等により回収した。

## 2. 調査企業

| 産業別   | 調査対象企業数 | 有効回答企業数 | 回収率    |
|-------|---------|---------|--------|
| 小売業   | 20      | 19      | 95.0%  |
| 製造業   | 13      | 11      | 84.6%  |
| 建設業   | 12      | 12      | 100.0% |
| サービス業 | 20      | 18      | 90.0%  |
| 卸売業   | 6       | 6       | 100.0% |
| 合計    | 71      | 66      | 93.0%  |

## 3. 調査期間

調査期間は、実績を平成 27 年 4 月～平成 27 年 6 月、見通しを平成 27 年 7 月～平成 27 年 9 月とし、調査時点は平成 27 年 6 月 30 日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指標として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数) の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」の DI 指数は 3 カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

## 調査の概要

平成 27 年 4 月～6 月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果は DI 指数（景気動向指数）を用いて示している。

DI は、「増加」「好転」等の企業割合から「減少」「悪化」等の企業割合を差引いた数値である。そのため、DI が±0 の状態であれば、「増加」「好転」等の企業割合と「減少」「悪化」等の企業割合が同じであることを示し、プラスの数値であれば「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも多いことを示す。逆に DI がマイナスの数値であれば、「増加」「好転」等の企業割合が「減少」「悪化」等の企業割合よりも少ないことになる。

また、グラフは右肩上がりになれば良い方向に向っていると判断でき、右肩下がりになれば良くない方向に進んでいると考えられる。

平成 27 年 4 月～6 月期の調査結果では、業況、売上高、採算、資金繰りの主要 4 指標全てで前回調査より数値が上昇した。

### <業況>

業況 DI は▲18.5 で前回調査の▲30.2 から 11.7 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲10.5（前回調査比+36.6）、製造業 0.0（前回調査比+45.5）、建設業 0.0（前回調査比▲9.1）、サービス業▲44.4（前回調査比▲22.2）、卸売業▲33.3（前回調査比+16.7）と小売業、製造業、卸売業が上昇した。

7 月～9 月期見通しは全体で▲19.7 であり、数値に大きな変動は見られない。

### <売上高>

売上高 DI は▲13.8 で前回調査より 20.6 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲26.3（前回調査比+29.3）、製造業 40.0（前回調査比+76.4）、建設業 8.3（前回調査比▲0.8）、サービス業▲38.9（前回調査比▲16.7）、卸売業▲33.3（前回調査比+50.0）であり、小売業、製造業、卸売業の上昇が目立つ。

7 月～9 月期見通しは全体で▲28.8 となっており、今回実績に比べて 15.0 ポイントの低下となっている。

### <採算（経常利益）>

採算（経常利益）DI は▲30.8 で前回調査より 4.7 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲47.4（前回調査比▲3.0）、製造業▲9.1（前回調査比+45.4）、建設業▲8.3（前回調査比▲8.3）、サービス業▲41.2（前回調査比▲11.8）、卸売業▲33.3（前回調査比+26.7）で製造業と卸売業が大きく上昇している。

7 月～9 月期見通しは全体で▲29.2 であり、今回調査実績より 1.6 ポイント上向いている。

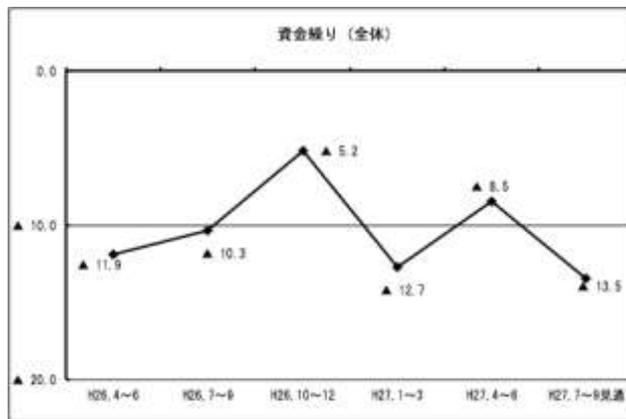
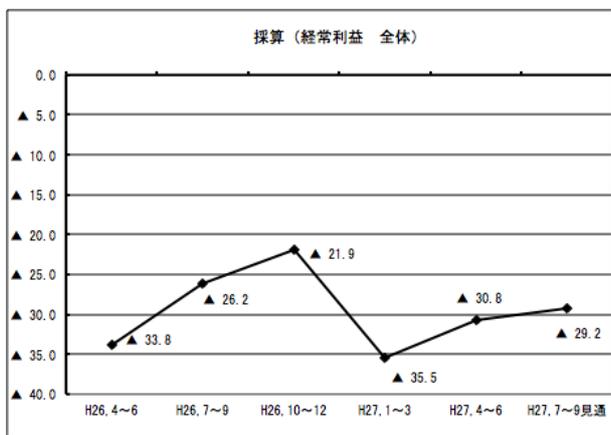
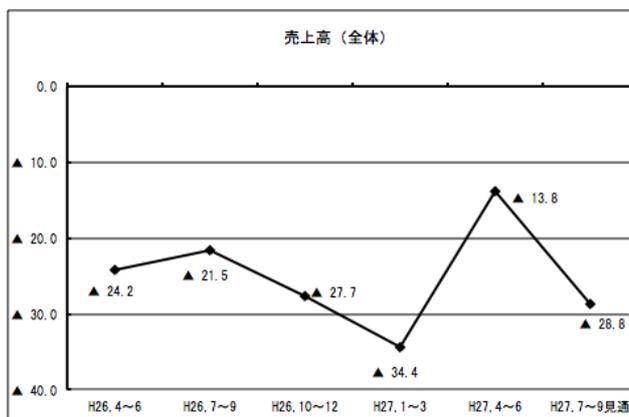
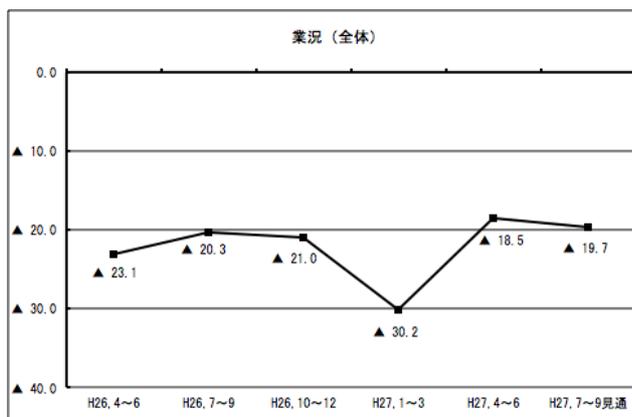
### <資金繰り>

資金繰り DI は▲8.5 で前回調査より 4.2 ポイント上昇した。業種別では小売業▲22.2（前回調査比▲9.7）、製造業 0.0（前回調査比+33.3）、建設業 0.0（前回調査比+10.0）、サービス業▲6.7（前回調査比+0.4）、卸売業 0.0（前回調査比±0.0）であった。

7 月～9 月期見通しは全体で▲13.5 であり、今回調査実績より 5.0 ポイント悪化となっている。

<その他の意見>

- ・人材不足。求人募集をしても応募がない。



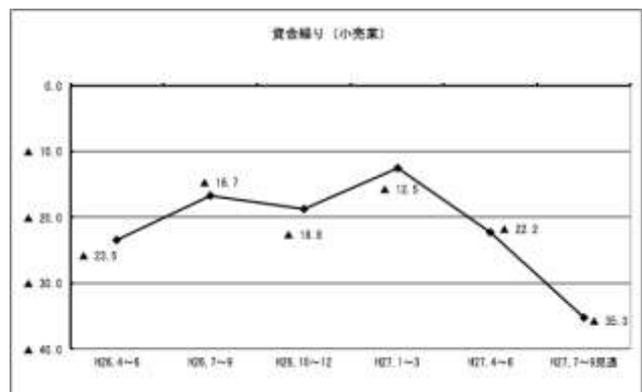
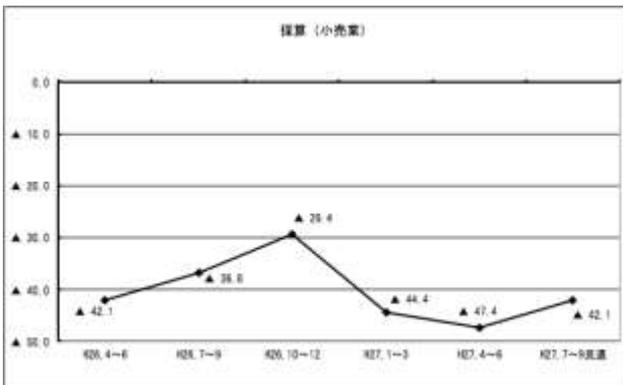
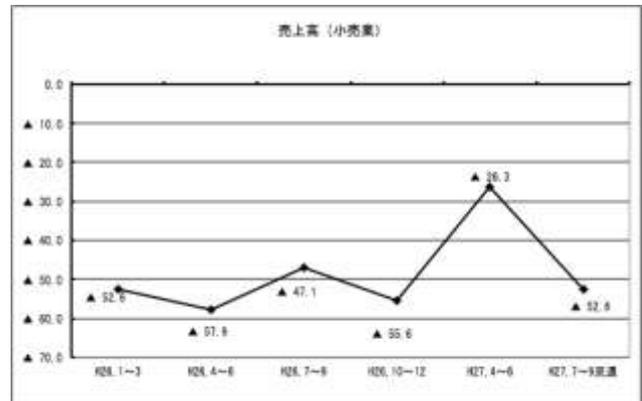
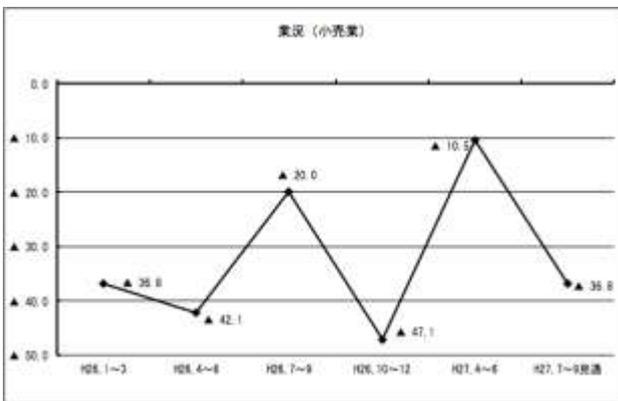
## 小売業

小売業の業況DIは▲10.5で前回調査より36.6ポイント上昇した。1年以上続いた悪化傾向から上昇傾向へ転換したようにも見える結果である。7月～9月期見通しは、▲36.8で見通しとしては明るくないが、上昇と低下を繰り返しているため、次の次の4半期の結果が気になる所である。

売上高DIは▲26.3で前回調査より29.3ポイント上昇した。売上高も過去1年続いた▲50ポイント前後の数値からかなり回復している。7月～9月期見通しが▲52.6と逆戻りしているのが気掛かりである。

採算（経常利益）DIは▲47.4で前回調査から3.0ポイント低下した。業況や売上高が上昇傾向にある中で採算は上昇傾向ではないようである。7月～9月期見通しは▲42.1で大きな回復は見通せていないようである。

資金繰りDIは▲22.2で前回調査から9.7ポイント低下した。動きの小さい指標なので、これをもって判断をするのは難しいが、7月～9月期見通しが▲35.3とさらに低い数値になっているので、資金繰りが楽になることはなさそうである。



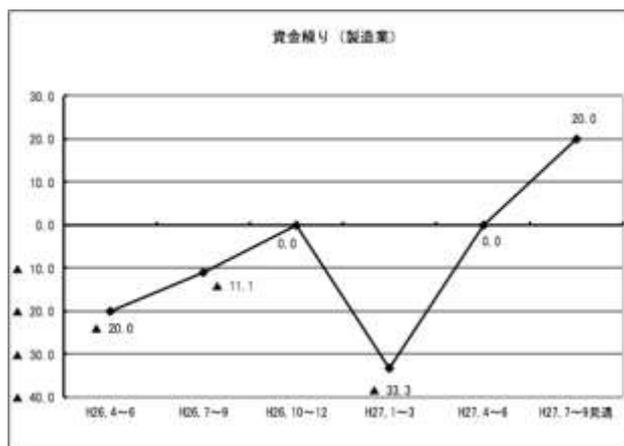
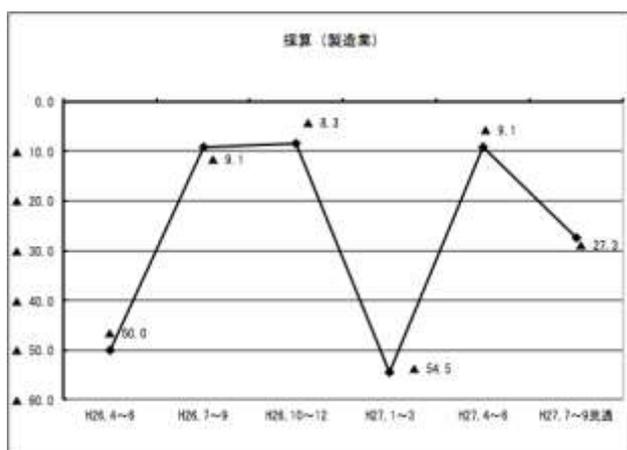
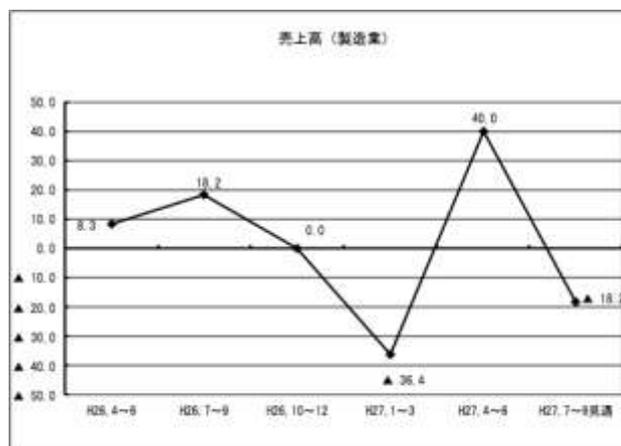
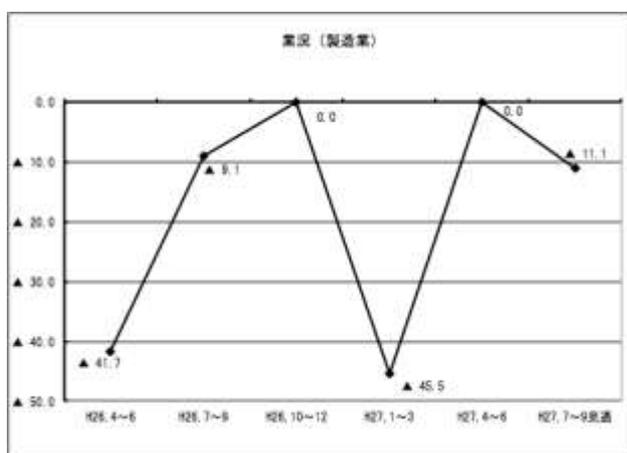
## 製造業

製造業の業況 DI は 0.0 と前回調査に比べて 45.5 ポイントの上昇となった。前回調査で ▲45.5 となった数値が前々回調査の数値に戻った。平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月までの 1 年間は、製造業にとって苦しい 1 年であったが、今回調査時点で 0.0 まで戻し次回調査が気になる所である。7 月～9 月期見通しは ▲11.1 で見通しは明るくない。

売上高 DI は 40.0 で前回調査に比べて 76.4 ポイントの大幅上昇である。売上高で見ると、好況感があると言える。一方 7 月～9 月期見通しは ▲18.2 と大きく下げており、この売上が長続きしないのではないかと警戒感が強いことがわかる。

採算 DI は ▲9.1 で前回調査に比べて 45.4 ポイントの上昇であった。売上高 DI 程ではないにしても大幅な上昇である。業況、売上高の回復とともに採算も回復したようである。7 月～9 月期見通しは ▲27.3 と落ちているが、これも業況、売上高の指標と同じようにこの先への警戒感が出ているのかも知れない。

資金繰り DI は 0.0 で前回調査より 33.3 ポイント上昇した。他の指標と連動した形である。7 月～9 月期見通しは 20.0 とこの部分だけは他の指標と違った動きであり、資金繰りは見通しが明るそうである。



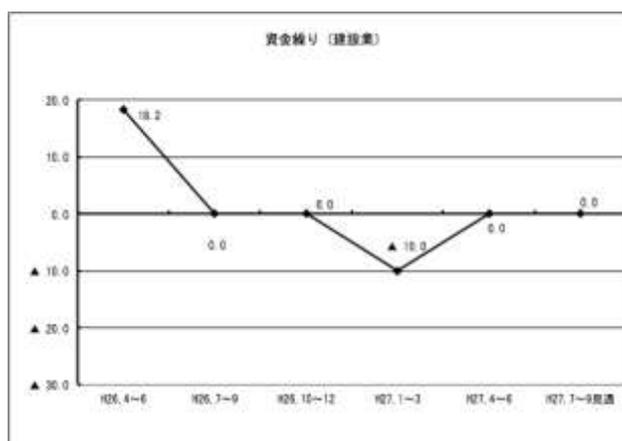
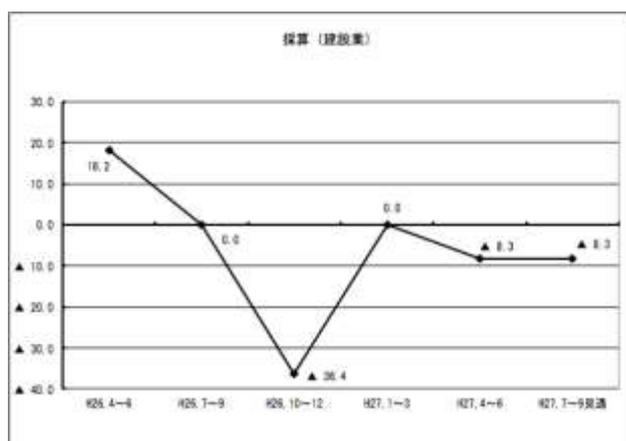
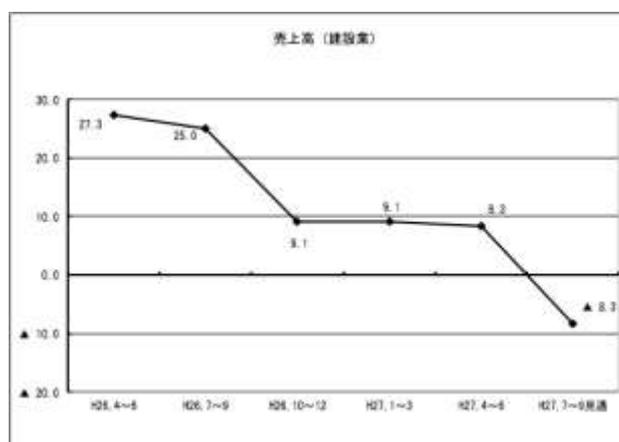
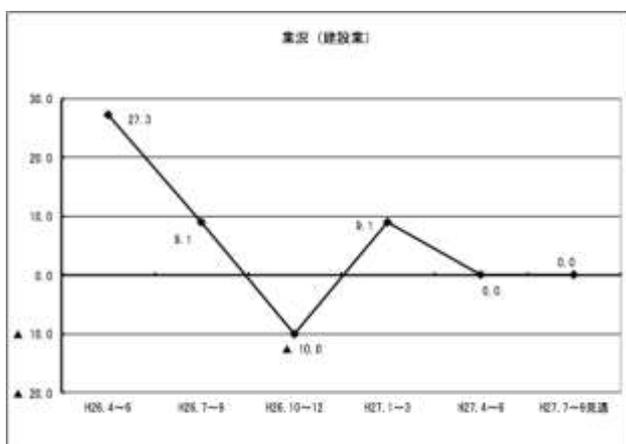
## 建設業

建設業の業況DIは0.0であり前回調査より9.1ポイント低下した。前回踏査よりも数値が低下したもののマイナスの領域ではなく、建設業全体の業況が悪くなったという所ではない。7月～9月期見通しも0.0である。

売上高DIは8.3で前回踏査より0.8ポイント低下した。平成26年10月～12月期に9.1となって以来、3回連続で同様の数値になっている。それ以前の好況期が過ぎ、落ち着いた状態が続いているように見える。7月～9月期見通しは▲8.3と0.0を割り込む数値になっており、この先は厳しい見通しになっている。

採算DIは、▲8.3で前回調査より8.3ポイント低下した。採算は以前の好況期に比べ落ちてきているようであるが、大きな落ち込みではなく、これも安定している。7月～9月期見通しも▲8.3と今回実績と同じである。

資金繰りDIは0.0で前回調査より10.0ポイント上昇した。過去1年間は比較的安定して0.0付近の数値になっている。7月～9月期見通しも0.0で資金繰りは安定していると言えそうである。



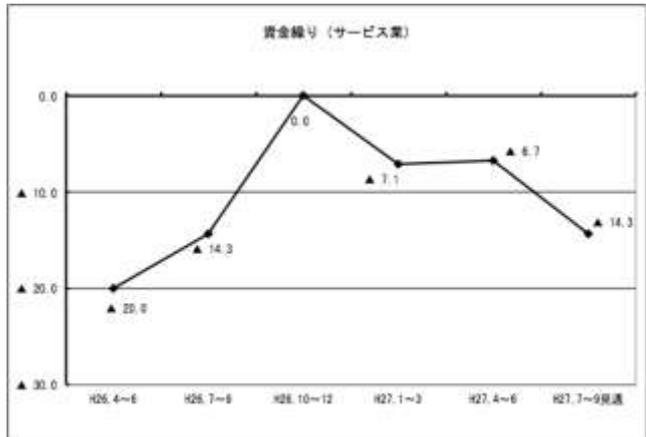
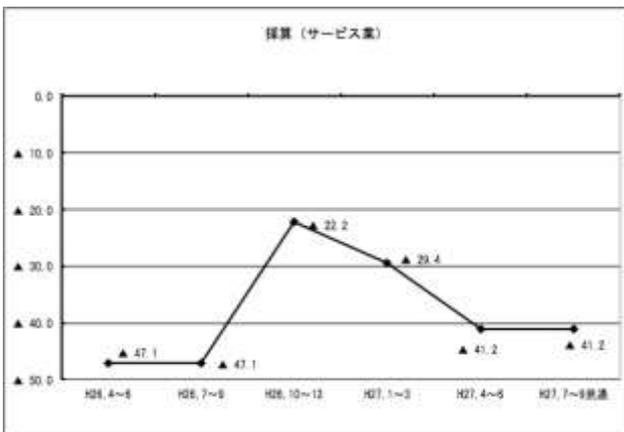
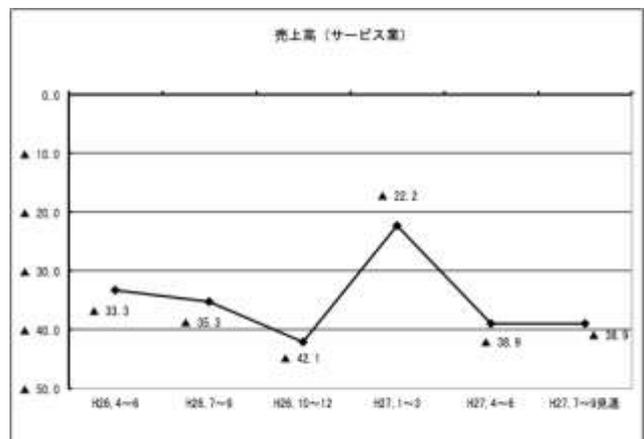
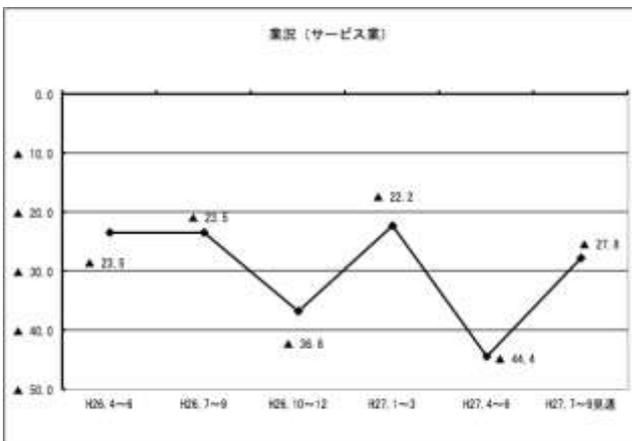
## サービス業

サービス業の業況DIは▲44.4で前回調査より22.2ポイント低下した。前回調査で▲22.2となり、前々回調査から回復したかのように見えたが、今回の調査で再び数値が悪くなり、サービス業全体の厳しさが表れている。7月～9月期見通しは▲27.8と今回実績よりは明るい見通しになっているが、製造業、建設業に比べると決して明るくない。

売上高DIは▲38.9で前回調査より16.7ポイント低下した。前回調査を除き、過去1年間同様の数値となっており、ここでもサービス業の厳しさが出ている。7月～9月期見通しも▲38.9と変化がなく、厳しさが緩むことはなさそうである。

採算DIは▲41.2で前回調査より、11.8ポイント低下した。この数値は消費増税の影響があった1年前と同様であり、業況、売上高とともに厳しさが続いていることがうかがえる。7月～9月期見通しも▲41.2で回復の見通しもないようである。

資金繰りDIは▲6.7で前回調査より0.4ポイント上昇した。1年前に比べると回復していると言える。7月～9月期は▲14.3で資金繰りの見通しも厳しくなっている。



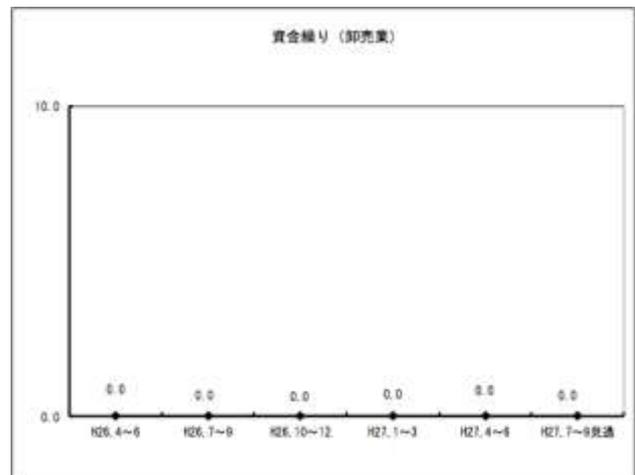
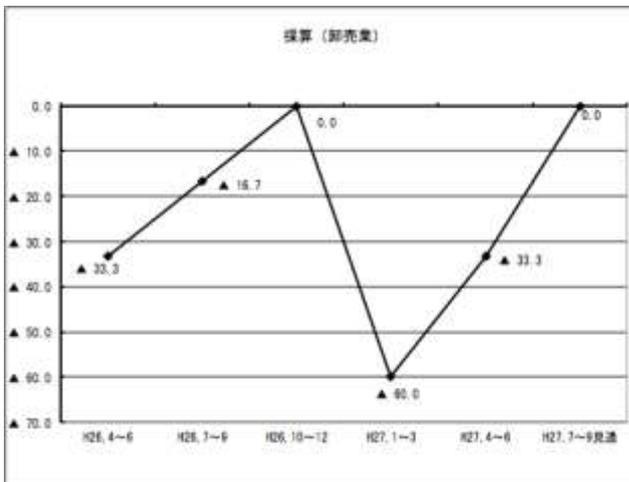
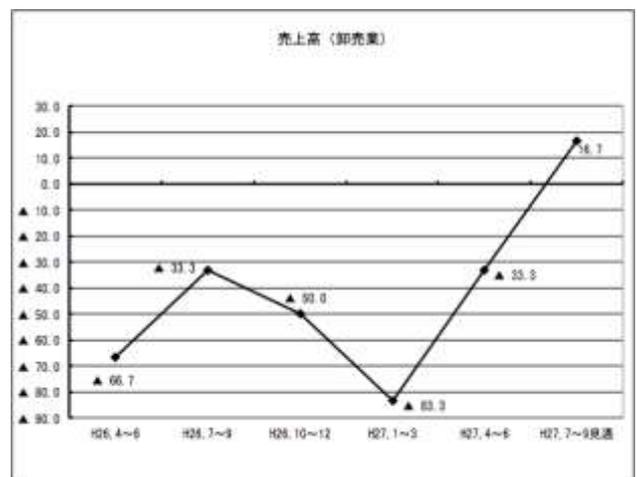
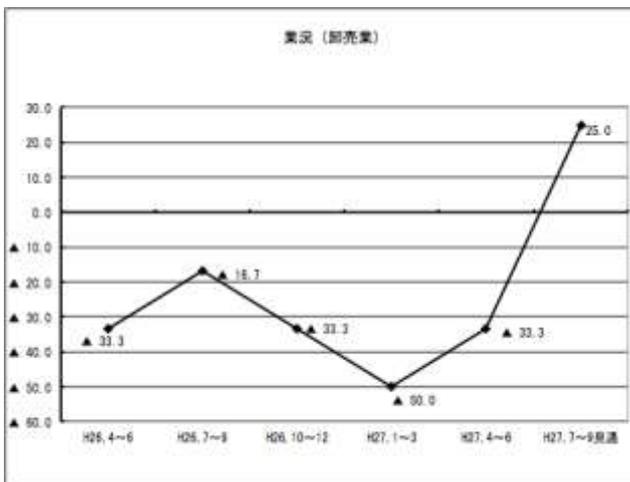
## 卸売業

卸売業の業況DIは▲33.3となり前回調査に比べて16.7ポイントの上昇である。1年前に業況DIがマイナスになってから1年間1度もプラスにならなかった。卸売業の業況回復は1年間なかったことになる。7月～9月期は25.0と大きくプラスの数値になっており、ようやく回復しそうである。

売上高DIは▲33.3と50.0ポイント上昇した。前回調査の▲83.3が極端に低い数値であったがそこから大きく回復している。7月～9月期見通しも16.7とさらに上昇した見通しになっており、卸売業は不況期から脱却が見込まれている。

採算DIは▲33.3で前回調査より26.7ポイント上昇した。業況、売上高と同様の動きを見せている。7月～9月期見通しも0.0とさらに回復が見込まれている。

資金繰りDIは0.0で前回調査と同じである。7月～9月期見通しも0.0で、過去1年間とこの先の3カ月の全てのDIが0.0になった。



## DI 指数一覧表

|       | 昨年の同期との比較    |               |              |               |              |               |
|-------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
|       | 業況           |               | 売上高          |               | 採算（経常利益）     |               |
|       | 4～6 月期<br>動向 | 7～9 月期<br>見通し | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し |
| 全 体   | ▲ 18.5       | ▲ 19.7        | ▲ 13.8       | ▲ 28.8        | ▲ 30.8       | ▲ 29.2        |
| 小売業   | ▲ 10.5       | ▲ 36.8        | ▲ 26.3       | ▲ 52.6        | ▲ 47.4       | ▲ 42.1        |
| 製造業   | 0.0          | ▲ 11.1        | 40.0         | ▲ 18.2        | ▲ 9.1        | ▲ 27.3        |
| 建設業   | 0.0          | 0.0           | 8.3          | ▲ 8.3         | ▲ 8.3        | ▲ 8.3         |
| サービス業 | ▲ 44.4       | ▲ 27.8        | ▲ 38.9       | ▲ 38.9        | ▲ 41.2       | ▲ 41.2        |
| 卸売業   | ▲ 33.3       | 25.0          | ▲ 33.3       | 16.7          | ▲ 33.3       | 0.0           |

|       | 該当期について      |               |              |               | 昨年の同期との比較    |               |
|-------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
|       | 採算（経常利益）水準   |               | 取引の問い合わせ     |               | 従業員          |               |
|       | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し |
| 全 体   | ▲ 10.8       | ▲ 9.4         | ▲ 30.6       | ▲ 33.3        | ▲ 3.3        | ▲ 6.7         |
| 小売業   | ▲ 5.6        | ▲ 17.6        | ▲ 46.7       | ▲ 50.0        | ▲ 18.8       | ▲ 12.5        |
| 製造業   | ▲ 9.1        | 9.1           | ▲ 27.3       | ▲ 27.3        | 36.4         | 9.1           |
| 建設業   | 8.3          | 8.3           | ▲ 25.0       | ▲ 8.3         | 0.0          | 9.1           |
| サービス業 | ▲ 22.2       | ▲ 27.8        | ▲ 38.9       | ▲ 50.0        | ▲ 23.5       | ▲ 18.8        |
| 卸売業   | ▲ 33.3       | 0.0           | 16.7         | 0.0           | 16.7         | ▲ 16.7        |

|       | 3カ月前との比較     |               |              |               |              |               |
|-------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
|       | 資金繰り         |               | 長期借入れ難易度     |               | 短期借入れ難易度     |               |
|       | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し | 4～6 月期動<br>向 | 7～9 月期<br>見通し |
| 全 体   | ▲ 8.5        | ▲ 13.5        | 2.0          | 0.0           | 2.0          | 2.1           |
| 小売業   | ▲ 22.2       | ▲ 35.3        | 0.0          | 0.0           | 7.7          | 7.7           |
| 製造業   | 0.0          | 20.0          | 0.0          | 0.0           | 0.0          | 0.0           |
| 建設業   | 0.0          | 0.0           | 20.0         | 10.0          | 10.0         | 10.0          |
| サービス業 | ▲ 6.7        | ▲ 14.3        | ▲ 7.1        | ▲ 7.1         | ▲ 7.7        | ▲ 7.7         |
| 卸売業   | 0.0          | 0.0           | 0.0          | 0.0           | 0.0          | 0.0           |

## 過去からの動向

